

造形美術展



第30回国民文化祭かごしま2015の関連事業として、町制施行10周年記念事業・ながしま造形美術展が10月17日、太陽の里ピクニック広場で開幕しました。

2年に1回、町民が一丸となって取り組むこの大イベントは、昭和60年、旧東町の時に始まり、平成18年の市町村合併を経て継続され、今年で16回目の開催となります。

町民のみんながアーティストとなって、杉の葉やスキ、ヒオウギ貝など自然の素材や空き缶、ペットボトルなどの廃材を使った1歳・3歳・5歳超級の力作がところ狭しと並びました。

今年は、国民文化祭や町制施行10周年という記念すべき年であったことから、多くの作品が例年よりも大きく、創造性に富んだ作品となり、また、町外の3つの団体・学校から作品を出展してもらいました。

今回の造形美術展には、自治公民館や学校、PTA、各種団体など計98団体から108点の作品が寄せられ、11月15日までの30日間、来場者を楽しませました。

17日の開会式では、オープニングセレモニーにあわせて、出水中央高等学校吹奏楽部による演奏が花を添えました。

式では、第30回国民文化祭長島町実行委員会長の川添健町長が「今回の造形美術展は国民文化祭の関連事業ということで、例年以上に地域の皆さんのご協力をいただいた。完成した素晴らしい作品が、夢と感動を発信し、長島町の更なる活性化に繋がると考えている」とあいさつしました。

セレモニー終了後は、彫刻家の通島義信審査委員長をはじめ、4人の審査委員により、「一般の部」、「PTAの部」、「学校・幼稚園の部」の3部門に分かれて審査されました。

また、31日からは同会場内で「秋の花フェスタ」も同時開催され、多くの花々が来場者を迎えました。

ながしま造形美術展審査委員

審査委員長

通島 義信氏

審査委員

前田 友幸氏

砂田 光紀氏

榮徳 多賀子氏

桐原 史朗氏